



塔のある学校から

令和5年度 第6号

美瑛町立美馬牛小学校

令和5年9月27日発行

半年が経ち 前期の「通知票」配付 地域の協働に感謝

校長 山田 裕子

美瑛は、農家の方々が耕した人の手の入った丘の風景がとても素晴らしい、多くの人々に感動を与える景色が広がっています。丘の上り下りがあり、帶のように整然と植えられている作物が、暑かつた夏を経て、すっかり秋の気配を漂わせ実りの秋を迎え、圧巻だと思う今日この頃です。季節の移り変わりとともに、次々と色彩を変化させていく様には圧倒されました。

学校においても、4月から半年が経ち、この9月末、子どもたちの成長の様子を「通知票」で家庭にお知らせし、この6ヶ月間を締めくくる時期を迎えました(2期制を採用)。子どもたち一人一人が、毎日意欲的に学習に取り組み、心も体もたくましく成長している様子をお伝えすることができ、うれしく思います。

2学期開始早々から、地域の方々にご協力をいただき、たくさんの体験活動を経験することができている子どもたちをとても幸せに思っておりります。ご協力に感謝申し上げます。

8月24日には、美瑛町内の小学校6年生が、「ふるさと学習」にて、各学校にて、オンラインでつながった画面で、角和浩幸町長様のお話を伺い、美瑛町民である自覚をもち、これから自分たちは、美瑛町民としてどんなことができるか?を考えるきっかけをいただきました。そして、各自がテーマを選び、同じテーマを選んだ児童同士で交流し、「美瑛町にあるものを生かして作りたいもの・こと」について、アイデアを出し合い、協働して提案を作成しました。美馬牛小6年生は、美瑛小6年生との合同チームでアイデアを出し合い、美瑛小にて、角和町長様をはじめ、鈴木貴久教育長様に発表し、聞いていただきました。

〈風景チームの提案〉～美瑛の花でTシャツ＆帽子染めをつくったらよい。

〈芸術チームの提案〉～美瑛の工房を巡るアートツアーを企画するとよい。

〈食チームの提案〉～余ったジャガイモの皮を使ってポテトチップスを作ったらよい。

〈風景チームの提案〉～美瑛のきれいな景色をPRするイルミネーションフォトコンテストを行ったらよい。

〈温泉チームの提案〉～美瑛の温泉施設で、地元民も観光客も楽しめる謎解きイベントを行ったらよい。

〈イベントチームの提案〉美瑛の食材を少しずつ食べることのできる試食会を行ったらよい。

発表では、どうしてそう思うのか、の理由なども述べられていました。いずれも、美瑛町に住んでいる子どもたちが、自分たちもその恩恵を享受できるような企画になっていました。小学校6年生は、あと6年で、成人年齢の18歳となって投票もできるようになり、町政に参加していくことになります。このような取組を通して、自分たちの町のことを、自分たちの力で楽しく住みよい町にしていくことのできる大人に成長していってもらいたいと思う次第です。

8月25日には、本校の「避難訓練」を実施いたしましたが、地震からの火事を想定しての訓練で、大雪消防組合美瑛消防署と美馬牛消防団の方々から、保護者を含め合計16名の方々が参加してくださいました。私自身は、体調を崩しその日は参加できなかったのですが、その様子を伺い、とても感銘を受けました。保護者をはじめ、地域の大人の方々が、お忙しい中、お集まりいただき、協働して消防の仕事を担当している姿は、とても頼もしい取組として、子どもたちの目に焼き付けられたと思います。9月は、防災訓練が各地で行われておりましたが、子どもたちと共に、たくさんの大人が関わり、実施できましたことに、心よりお礼申し上げます。

9月22日には、「あぐりスクールinびえい」の取組で、JA美瑛青年部の方々にお世話になり、置杵牛の坂田敬太様の田んぼで稲刈りの体験をさせていただきました。収穫の忙しい折、子どもたちのために時間を割いていただき感謝申し上げます。

また、5・6年国語の授業の際、本校の近隣にある「四季彩の丘」にご協力いただきましたこと、地域の熊谷寛樹様にお礼申し上げますと共に、その「四季彩の丘」が、全国ネットの民放で紹介され、「この夏、見ておくべき絶景の花畠」のベスト1(ワン)に選ばれましたことも、子どもたち共々、とても誇りに思っております。

地域の大人の協働の姿を子どもたちに見せることが、自分の住んでいる地域を誇りに思うことにつながります。美馬牛の「地域と共にある学校」の本校にとって、地域の皆様のご支援とご協力をいただき、子どもたちの成長を見守っていただいておりますこと、有り難く思っております。

学芸会(学習発表会)は、11月11日(土)の予定です。皆様のご来場をお待ちしております。

学校評価へのご協力、ありがとうございました！

お忙しい中、1学期末には前期の学校評価にご協力いただき、誠にありがとうございました。本年度の前期「学校評価」の結果については、下記の通り集計しましたので、お知らせいたします。

集計結果1 児童の質問項目を中心に結果をまとめたもの

集計結果2 児童の質問項目にないものを中心に結果をまとめたもの

特徴的な結果を示している項目や、若干評価が下がったもの、数値 자체が少し低い項目については、色をつけてあります。昨年度学校評価を大幅に見直しを図り、学校評価を行いましたが、本年度は、小中で質問項目を見直したり、質問項目を減らすなど、回答の効率化を図るように努めました。また、質問内容については、質問の意図や趣旨を踏まえて「子どもの姿（行動）」などをイメージし、より回答しやすくなるように努めました（以下の例をご参照ください）。



○経年変化（昨年度比較）については、先述の通り、質問項目の見直し等のため、単純に比較することができないところもありますので、参考程度でおさえてください。

・例1 児童への質問 昨年度「道徳の勉強が好きだ。」

→本年度「道徳の勉強では、自分と違う意見や考えを聞いたり、話し合ったりしている。」

・例2 保護者への質問 昨年度「学校からの宿題や先生方の指導によって、家庭でも学習する機会が増えた。」

→本年度「宿題や指導により、学年×10+10分（例：小学校1年生 1×10+10分=20分）以上の家庭学習に取り組んだり、家庭での学習する機会が増えている。」

・例3 本校の育成すべき資質・能力に関わって

保護者への質問 昨年度前期「ねらいに向かって協働し粘り強く努力する子」の育成に向けて教育活動が行われている。」

昨年度後期「目標やねらいを達成するために、協働し粘り強く努力する姿が見られるようになってきた。」

→本年度「家庭学習や宿題などに取り組むときに、粘り強く頑張る様子が見られることが増えてきた。」

○変化の欄の記号（↑、→、↓）は、昨年度後期との比較において、0.2ポイント以上上昇の場合「↑」、変化がなかった場合「→」、0.2ポイント以上下降の場合「↓」の各記号を付けました。



今回の学校評価の結果や皆様からいただいた貴重なご意見を生かし、よりよい学校づくりに向けて教職員一丸で取り組んでいきます。なお、10月12日（木）に行われる参観日で、補足説明や今後に向けた取組などについてお話をさせていただきます。

R5 前期学校評価の集計結果①(4点満点)

児童の質問項目との照合を中心に

R4 R5

内容	回答	質問項目				4	3	2	1	前期	後期	前期	変化
育成すべき資質・能力	児童	勉強や行事のときにはめあてを決めてがんばった。①		15	12	2	0	3.7	3.6	3.4	↓		
	保護者	家庭学習や宿題などに取り組むときに、粘り強く頑張る様子が見られることが増えてきた。①		1	13	6	0	3.2	3.3	2.8	↓		
	教職員	「ねらいに向かって協働し粘り強く努力する力」の育成に向けて教育活動が行われている。①		2	8	0	0	3.0	3.2	3.2	→		
	児童	自分の思いや考えを伝えたり、話し合ったりしている。②		15	13	0	1	3.6	3.6	3.4	↓		
	保護者	お子様は、自分の意見や考えをしっかりと話すことが増えてきた。③		4	13	3	0	3.3	3.2	3.1			
	教職員	「自分の思いや考えを広く伝える力」の育成に向けて、教育活動が行われている。③		0	10	0	0	2.9	2.9	3.0			
学習指導	児童	学校の授業で、勉強がよくわかるようになった。③		19	10	0	0	3.7	3.8	3.7			
学習指導の工夫など	児童	授業ではChromebookを使ったり、話し合い活動をしたりなどの工夫があって楽しい。④		21	8	0	0	3.8	3.8	3.7			
	保護者	ICTの使用や話し合い活動が取り入れるなど、わかりやすい授業づくりに努めている。⑥		4	14	1	0	3.3	3.4	3.2	↓		
	児童	先生たちは、ていねいにわかるまで教えてくれる。⑭		21	8	0	0	3.7	3.7	3.7	→		
	保護者	よりよい授業や諸活動・行事づくりのために、工夫をして取り組んでいる。㉑		10	9	1	0	3.6	3.6	3.5			
	教職員	確かな学力の定着を目指し、ICTの活用や多様な活動を取り入れた授業を提供している。⑦		5	4	1	0	3.2	3.1	3.4	↗		
家庭学習	児童	学年×10+10分（例：小学校1年生 1×10+10分=20分）以上を目標に家庭学習や宿題をやっている。⑤		12	10	6	1	3.8	3.7	3.1	↓		
	保護者	宿題や指導により、学年×10+10分（例：小学校1年生 1×10+10分=20分）以上の家庭学習に取り組んだり、家庭での学習する機会が増えている。⑦		1	8	8	3	2.8	3.2	2.4	↓		
	教職員	家庭学習の習慣化を目指して子どもに応じた課題を出すなど工夫している。⑧		3	6	1	0	3.5	3.5	3.2	↓		
道徳指導	児童	道徳の勉強では、自分と違う意見や考えを聞いたり、話し合ったりしている。⑥		17	12	0	0	2.7	2.8	3.6	↗		
	保護者	子どもの言動から、協力したり、他者を思いやったりする意識が高まっている。⑧		5	15	0	0	3.1	3.3	3.3	→		
	教職員	考え方、議論する道徳などを通じて、他者とともによりよく生きる基盤づくりに努めている。⑨		2	7	1	0	3.1	3.1	3.1			
学校生活	児童	いじめなどもなく、安心して登校している。⑦		20	8	0	1	3.8	3.5	3.6			
	保護者	いじめなどもなく、子どもたちが安心して登校できるように努めている。⑨		8	10	2	0	3.4	3.5	3.3	↓		
	教職員	いじめ等のない、安心・安全な学校づくりに努めている。⑩		4	5	1	0	3.1	3.4	3.3			
	児童	楽しく、充実した学校生活を送っている。⑧		19	10	0	0	3.8	3.5	3.7	↗		
	保護者	子どもたちが、楽しく、充実した学校生活を送れるように努めている。⑩		10	8	1	0	3.4	3.5	3.4			
	教職員	学校生活において、共感的に他者を理解する能力や態度を培い、よりよい人間関係を構築していくように努めている。⑪		5	5	0	0	3.1	3.4	3.5			
キャリア教育	児童	授業などで自分の将来の夢や、やってみたいことなどについて考えることができた。⑨		19	6	2	2	3.5	3.1	3.4	↗		
	保護者	家庭において、将来の夢やなりたい職業、やってみたいことなどを話す場面が見られるようになってきた。⑫		3	11	6	0	2.8	2.9	2.9	→		
	教職員	総合や学活などを通して、将来の夢への意識をもたせている。⑬		1	8	1	0	3.0	3.0	3.0	→		
規律遵守	児童	みんなが気持ちよく生活するために、きまりを守っている。⑩		16	13	0	0	3.7	3.5	3.6			
	保護者	学校や社会のルールを守って行動しようとする意識が高まっている。⑭		8	11	1	0	3.3	3.3	3.4			

あいさつ	児童	友だちや先生たちに元気なあいさつをしている。(11)	18	10	1	0	3.5	3.5	3.6	
	保護者	あいさつや正しい言葉づかいが身に付いたのを感じる。(15)	3	14	2	0	3.1	2.9	3.1	↗
	教職員	あいさつや正しい言葉遣いができるよう、児童に指導している。(17)	2	7	1	0	2.8	3.0	3.1	
健康・安全管理	児童	健康や安全に気をつけて生活することができた。(12)	20	9	0	0	3.7	3.7	3.7	→
	保護者	自分の健康のために、生活リズムや食べ物のバランスなどに気を付けたり、自他の生命の安全を心がけて生活したりしている。(16)	4	9	7	0	3.3	3.2	2.9	↘
	教職員	家庭と協力して基本的生活習慣の確立と健康の維持改善への意識を高めるとともに、自他の生命を守る意識を高めさせるように努めている。(18)	4	6	0	0	3.0	3.3	3.4	
体力向上	児童	体育や休み時間に、グラウンドや体育館で、たくさん体を動かしている。(13)	13	14	2	0	3.7	3.7	3.4	↘
	保護者	体力の向上にむけた指導に積極的に取り組んでいる。(17)	3	12	5	0	3.2	3.0	2.9	
	教職員	授業や休み時間などを通して、運動習慣作りや体力の向上に努めている。(19)	4	6	0	0	3.1	2.9	3.4	↗
親しみやすさ	児童	先生たちはいつもそばにいてくれて、話しかけやすい。(15)	18	10	0	0	3.5	3.5	3.6	
	保護者	担任をはじめとして教職員は話しかけやすい雰囲気である。(19)	12	7	1	0	3.6	3.6	3.6	→
公共心	児童	学校でみんなで使うものや場所を大切にしている。(16)	19	9	0	0	3.8	3.8	3.7	→
修繕危険箇所など	児童	学校にあればいいものや直してほしいところ、あぶないと思うところはない。(11)	6	8	9	5			2.5	
	保護者	学校に設置してほしいものや直してほしい箇所、危険だと感じる箇所などはない。(23)	4	13	3	0			3.1	
	教職員	学校に設置してほしいものや直してほしい箇所、危険だと感じる箇所などはない。(28)	0	3	4	3			2.0	

R 5 前期学校評価の集計結果②（4点満点）児童の質問項目以外のもの

R4 R5

内容	回答	質問項目	4	3	2	1	前期	後期	前期	変化
育成すべき資質・能力	保護者	お子様は、自分でものごとを決めたり、振り返りや反省をし、次に生かそうとしたりすることが増えてきた。(2)	4	10	6	0	3.3	3.2	2.9	↘
	教職員	「自己決定、見通し、振り返りながら学習する力」の育成に向けて教育活動が行われている。(2)	2	8	0	0	3.1	3.2	3.2	→
教育課程	保護者	学校は、地域の環境や人材を教育活動に活かすなど、小規模校の良さを生かした教育活動を工夫し、実践している。(4)	8	11	1	0	3.4	3.4	3.4	→
	教職員	地域の環境や人材を教育活動に活かすなど、小規模校の良さを生かした教育活動、開かれた学校づくりに努めている。(4)	4	5	2	0	3.1	3.3	3.1	↘
	保護者	小学校と中学校が目指す子ども像「生きる力を身に付け、他者とともに未来へ歩む」を設定し、協力しながら教育活動を行っている。(5)	1	16	3	0	3.2	3.1	2.9	↘
	教職員	小学校と中学校が一貫教育に向けて連続性・系統性をもって、連携して教育活動が行われている。(5)	1	4	5	0	2.5	2.4	2.6	↗
特別活動	保護者	運動会や諸行事などで主体的に活動し、役割を果たそうとする子どもの様子がうかがえた。(11)	13	7	0	0	3.8	3.7	3.7	
	教職員	児童会・学級活動などを通して、子ども一人ひとりが主体的・創造的に活動できるよう、指導の工夫を図っている。(12)	2	8	0	0	3.2	3.4	3.2	↘
話し合い・表現	保護者	授業や運動会などの諸行事の発表活動を通じて、表現力が身に付いてきている。(13)	7	13	0	0	3.3	3.3	3.4	
	教職員	各教科等で言語活動を充実させる取組を行い、表現力を高めている。(14)	3	7	0	0	3.0	3.2	3.3	

個別支援	保護者	子ども一人ひとりへの状況に応じた手助けや心配りができるいる。 ⁽¹⁸⁾	8	12	0	0	3.5	3.4	3.4	→
	教職員	通常学級・支援学級にかかわらず、子どもの状況や特性、発達の程度に応じたきめの細やかな指導の充実を図っている。 ⁽²⁰⁾	7	2	1	0	3.4	3.3	3.6	↗
環境整備情報発信	保護者	校内外の環境整備に努めたり、学校だよりや学級通信などで、様々な学校の取組などを伝えようとしている。 ⁽²⁰⁾	12	8	0	0	3.6	3.5	3.6	
保護者・地域との連携	保護者	保護者と教職員が一体となり、連携を図りながら子どもたちのために活動を推進している。 ⁽²²⁾	9	10	1	0	3.4	3.5	3.4	
	教職員	教職員がPTA、CSなどと連携を図りながら、美馬牛の9年間で目指す子ども像に向けて子どものために活動を推進している。 ⁽²⁷⁾	1	8	1	0	3.0	3.0	3.0	→

学校評価の結果を受けて

①育成すべき資質・能力について

(集計結果②にも評価項目がありますが)全般的に数値が、若干下降傾向を示しています。後期に向けて「学校だよりや行事等の案内における丁寧な情報提示・説明」などに努めていきます。

②学習指導、学習指導の工夫などについて

参観日等で「ICT活用」「話し合い活動」などを見ていただく場面を設定し、「個に応じた学び」「協働的な学習活動」を一体的に充実させた授業実践に努めています。

③家庭学習について

本年度は、本校で目指している家庭学習時間を明示し、児童・保護者の質問項目を見直しました。児童・保護者・教職員三者すべてにおいて、昨年度から下降する結果となりました。「子どもには家庭学習の進め方を丁寧に指導」、「家庭学習習慣の定着のため、情報モラル等のあり方を家庭と連携・推進」等により、児童自ら積極的に学んでいくことのできるような実践を積み重ねていきます。

④学校生活について

学校生活全般については、昨年度とほぼ同様の傾向となっていますが、いじめについては、児童・保護者・教職員すべてで「2」「1」の回答があったことを重く受け止めています。このような結果をしっかりと踏まえ、教職員間、学校と保護者との連携や協働を大切にし、いじめの未然防止により一層力を入れるよう努めます。早期発見、対応に努めてまいります。また、「仲良し大作戦（仲良し集会・仲良し標語）」など、児童主体の取組も見守っていきます。

なお、6月に実施しました「いじめ調査」においては、本校のいじめの認知件数は0(ゼロ)件でした。

⑤キャリア教育について

児童の結果が0.3ポイント上昇していましたが、保護者・教職員の結果は、横ばい状態(7割強)でした。自己有用感や他者理解などの高揚や将来幸せな人生を歩むことのできるよう、キャリア教育を推進していきます。

⑥健康・安全管理、体力向上について

授業などにおける興味・関心や充実感を得られるような活動の推進、本校での取組の情報発信、季節、時期に応じた健康・安全の啓蒙などを継続的に行っていくことができればと考えております。

⑦教育課程について

地域の人的・物的資源の有効活用(と精査)、本校のもち味を生かした教育活動の推進(縦割り班活動、全校での活動など)により、社会に開かれた教育課程、地域とともにある学校づくりに努めてまいります。保護者や地域の方々のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

⑧小中一貫教育について

昨年度は、小中の「小中一貫教育のあり方」の検討、PTAや学校運営協議会での意見交換、9年間で目指す子ども像を見直しなどに取り組み、本年度の活動がスタートしております。今後は、小中合同で取り組む内容のさらなる充実を図っていくことができるよう、中学校と連携・協働を推進してまいります。

校内外で学び、頑張っている子どもたち…

今回の学校だよりでは、8月下旬以降の児童の様子を写真を交えて、ご紹介いたします。どの学年の児童も学びを深め、日々成長しております。

○ふるさと学習 4年生:8月28日(月) 6年生:8月24日(木)



火山に対して理解を深め、防災意識を高めることを目的に「防災の学習」をしました。

町長講話や他校の児童との交流を通して、美瑛の魅力を高める方策を他校の児童と協働して作り上げる学習をしました。

○8月25日(金)避難訓練

今回の避難訓練は、災害時(今回は地震を想定)に、児童を適切に且つ速やかに避難させ、人命を守るために意識を高めることを目的に行われました。



多くの保護者の方が消防団員として、今回の訓練にご協力いただきました。

○集合学習 8月29日(火)中学年・8月30日(水)低学年

美沢小、明徳小、本校をオンラインでつなぎ、国語の学習(交流)を行いました。左から順に1・2・3年生です。



○9月11日(月)後期児童会役員選挙

今回の児童会役員選挙には3名の児童が立候補者し、美馬牛小学校のために頑張りたいことを、全校児童の前で、堂々と演説の中で伝えていました。



3名の児童会新役員の活躍を願っております。

<10月の主な行事>

- 2日(月) 朝会(認証式)
3日(火) 上教研中部地区研究大会
(12:15下校)
6日(金) 町へき複研究大会
(12:50下校)
9日(月) スポーツの日
10日(火) 朝会 校舎外清掃
11日(水) 後期児童総会
12日(木) 参観日
給食試食会(3・4年)



- 17日(火) クラブ
23日(月) 学芸会特別時間割開始
(~11月10日<金>)
25日(水) 学芸会練習
27日(金) 代表委員会 学芸会練習
30日(月) 委員会
31日(火) 美瑛町教育研究大会
(12:50下校)